

せきじりの

富津市立環小学校

学校便り No.9

令和元年9月4日

mail tamaki@futtu.ed.jp

URL <http://www.futtu.jp/syo-tamaki/>

二学期 スタート



始業式：各学年代表からの目標発表

全校児童70名が元気に登校しました！

日に焼けた顔に白い歯がこぼれる元気いっぱいの顔がそろいました。44日間の夏休みを終え、ひとまわりもふたまわりも成長した全校児童70名の子どもたちと顔を合わせることができました。無事に新学期を迎えられたことを、とてもうれしく思います。長い夏休みの間、ご家庭でのご指導、ご協力ありがとうございました。

9月2日（月）の始業式では、各学年の代表児童から2学期に頑張りたいこと（目標）の発表がありました。2学期に向けてしっかりと目標を持って臨んでいる姿は、とても立派でたく

ましさを感じました。それぞれが掲げる目標に向かい、努力を続けてほしいと思います。また、私たち教職員も支援・指導に精一杯努めてまいります。

2学期がんばること（目標）

〈よく学ぶ子・やさしい子・がんばる子〉

1年 ○○ ○○ さん

「算数・友だちと仲良く・走ること」

2年 ○○ ○○ さん

「算数（かけ算）・1年生のめんどうを見る・マラソン大会1位」

3年 ○○ ○○ さん

「漢字・あいさつをたくさんする・運動会」

4年 ○○ ○○ さん

「漢字・低学年にやさしく声をかける・運動会（選手リレー）」

5年 ○○ ○○ さん

「自学・テストで75点以上取る・あいさつ」

6年 ○○ ○○ さん

「ドリル・委員会活動・運動会・音楽の集い・マラソン大会」



9月1日は「防災の日」



関東大震災（大正12年9月1日発生）では、死者、行方不明者10万5千人余り、家屋の全壊11万戸の被害が発生しました。国民が台風、高潮、津波、地震等の災害についての認識を深め、これに対応する心構えを準備することを目的として、昭和35年に関東大震災の発生日を「防災の日」と決めました。こうした大震災は、いつ起きてもおかしくない状況であると言われています。環小学校では各学期に1回避難訓練を、また毎月ワンポイント避難訓練〈一次避難〉を実施しています。



9月3日（火）、緊急地震速報が流れた場合を想定した避難訓練を実施しました。揺れがおさまるまで「建物から離れて身をかがめる」「机の下に潜り、対角の脚をつかむ」〈一次避難〉は行わず、グラウンドの中央に素早く避難する。〈二次避難〉を実施しました。

困・・・おさない 回・・・すばやく □・・・しずかに 罟・・・もどらないの約束事を守り、安全に避難する行動を身につけました。

9月9日は「救急の日」



左の写真は、保健室前の廊下の掲示物です。もしもの場合に備え、ケガの処置の仕方を確認します。

〈ヤケド〉20～30分、水で冷やす。ぬらしたタオルでもOK！

〈すりきず、きりきず〉水道でよく洗って、汚れやばい菌を落とす。

〈つき指〉冷やす。氷、ぬらしたタオルでもOK！

〈鼻血〉鼻をつまむ。上を向いたりしない。ティッシュがあるとよい。

続けることに大きな意味がある！

2学期 始業式 学校長の話

皆さん、おはようございます。44日間の夏休みが終わって、今日から2学期がはじまりました。今日は久しぶりに学校に来て、久しぶりに教室に入り、久しぶりに友だちや担任の先生に会って、新鮮な感じがしたのではないのでしょうか。校長先生も久しぶりに皆さんの元気な顔と元気なあいさつの声を聞いて、とてもうれしく思います。

それから、長い夏休みの間に、皆さんが大きな病気やけがをしたり、交通事故などにあたりしたことが1つもなかったことも、校長先生にとってはうれしいことです。

ところで、今日から2学期が始まるわけですが、2学期は1学期よりも学校に来る日が少し長いです。1学期が67・68日ありましたが、2学期は、76日あります。それに、2学期は季節でいうと秋が長いです。秋は、昔から「読書の秋」、「芸術の秋」、「スポーツの秋」、「食欲の秋」などと言われて、勉強をしたり、運動をしたりすることが、とてもやりやすいときです。ですから、学校行事もたくさんあります。運動会、小中合同合唱祭、音楽の集い、体操大会、マラソン大会、長縄跳び集会などがありますね。

ところで、そのようないろいろな行事はもちろんですが、その他に2学期皆さんにがんばってほしいことが1つあります。これは校長先生からのお願いです。それは何かというと、**「何か1つ長く続けられることを見つけて、それを長く続けてほしい」**ということです。

たとえば、毎日20分間読書をするとか、毎日5つの漢字を練習するとか、毎日家の玄関の掃除をするとか、毎日縄跳びをするとか、毎日ランニングをするとか、毎日授業中3回以上手をあげてみるとかということです。続けることは特別なことでなくてもかまいません。

どうしてそういうことをお願いするかというと、1つのことをやり続けると、いいことがたくさんあるからです。まず、**生活がだらだらしないで、きちんとしてきます。それから根気強くがんばれるようになります。それから、自分が続けていることがとっても上手になったり、力がついたりしてきます。そして、そういうことが他の勉強や運動にもよい結果となってあらわれてきます。**

自動車のタイヤとか部品を売っている**イエローハット**というお店をつくった、**鍵山秀三郎（かぎやまひでさぶろう）さん**という方のお話をします。

鍵山さんは、若いころ勤めた会社で、働いている人の言葉づかいやお客さんへの態度がよくないので、嫌な思いをしていたそうです。いつも会社を辞めたいと思っていたそうですが、そんな中で自分にできることはないかと考え、**掃除をしよう**と思い立ちました。まわりがきれいになれば、雰囲気もよくなるのではないかと考えたそうです。

でも掃除をしていると、社長のご機嫌とりをしていると思われ、いじめられたりしたそうです。鍵山さんはそれに負けずずっと掃除を続けましたが、みんなにわかってもらえるまで4年もかかったそうです。

その後鍵山さんは、会社をつくって社長になりますが、社員の態度はやっぱりよくなかったそうです。鍵山さんはそこでもトイレ掃除を続けたそうですが、トイレ掃除しかしない社長だとバカにする社員もいたそうです。会社はなかなかうまくいかず、鍵山さんはずいぶんと苦労しましたが、**トイレ掃除だけはずっと続けたのだそうです。**

それが少しずつ社員の気持ちを変えていきました。やがて、社員が自主的に掃除をするようになりました。しかも、会社の中だけでなく、近所の掃除もするようになります。そうすると「あの会社は掃除をよくやる会社だ」と評判になりました。評判になると社員もうれしいのでがんばって働くようになり、会社の雰囲気も売り上げもどんどんよくなっていったそうです。

鍵山さんは、**だれにでもできる平凡なことを、だれにもできないくらい徹底して続けたのです。何でも平凡なこと、だれにでもできる簡単なことでも、だれにもできないくらい長く続けるとすばらしいことが起こるのです。それくらい「続ける」という行動には大きな意味と効果があるのですね。**

皆さんの中にも1つのことをなかなか続けられない人がいると思います。**続けるか続けないかの分かれ道は、そのときにそれをやるかやらないかだけです。**やればできること、それをやるときに**「強い意志」**でやることです。

この2学期には、ぜひ何か1つ続けたいことを決めて、続けてみてください。長く続けられると、みなさんにとってすばらしい成果が上がるのではないかと思います。期待しています。